



夕刊 夕刊 夕刊

夕刊 夕刊 夕刊

夕刊 夕刊 夕刊

夕刊 夕刊 夕刊

夕刊 夕刊 夕刊

夕刊 夕刊 夕刊

夕刊 夕刊 夕刊

### 産業報國の決意固く

#### 工場協同 平支部發會式舉行

會長以下役員廿名選出

産業報國の意圖の下に結成合せた

された縣工場協同平支部の

發會式は十六日午後二時半

から平署會議室に開會、野

頭役員選出を行ひ左の如く

決定、次いで會則協議を

満場一致で決議、従業員平

等防止をさけるため従業員

名簿を作成、不随行動、使

こみ其の他不祥事をなし

従業員は採用せぬこと、現

従業員を雇備する場合は使

用主の諒解を得ること等を

方針に基き十六日遺族協

同委員左記十二名を囑

馬目理事の補欠選挙を行

ふが選任委員をあげて従前

石川徳壽 松田實 矢吹の

配置にならひ下神白より

文編 若松孝平 比佐實

及川富士太郎氏が有力の

司 鯨岡賢司 松繁庄一

村上六平 菊地正一 岩等

の余興等もある豫定

江名信用組合は来る廿

六日午後五時ころ廿三四

申立、て懐中には兩親叔父

の若者が眞實になつて平

署伯母にあつた遺書三通を

に駆け込み「毒をのんだ」

### 江名 國防兩婦人會

#### このふ合同總集會

#### 軍人遺族慰安の催し

江名町愛國婦人會並に國防

荒川小學校高等科一年生坂

婦人會の合同總集會は昨十

六日午前十時より劇場江

一 鈴木義雄 坂本富彌

館に開催したが、當日は出

坂本登の六君は鳥小屋で集

征兵遺族を招待して夕景

の金一圓六十一錢を國防

迄余興等に慰安の夕を催し

献金として平署に寄託

た

鳥小屋で献金 飯野村上湯

本町では陸隊區司令部の

切れず平署に救ひ求めたと

日本水産株式會社萬代取締

役は目下東北各工場視察の

途にあり十七日小名濱江名

### 若者服毒自殺

#### 平署に救ひを求めて昏倒

十六日午後五時ころ廿三四

申立、て懐中には兩親叔父

の若者が眞實になつて平

署伯母にあつた遺書三通を

に駆け込み「毒をのんだ」

とばかり倒れ昏睡状態に

おちつたので早速平病院

にかつぎこみ應急手當を

施してゐる、苦しい息の下

から男は

茨城縣日立町久保田阿部

一郎方日立製作所試験手

阿泰孝(三)

と名乗り同日悲願平市中に

此の世の名残りに松ヶ岡公

園を散策、四時半頃ツツリ

ン五十錠を嚥下したが死に

工場初巡視

日本水産株式會社萬代取締

### 母校に送金

#### 上遠野村出身出征軍人上遠

野友親外二君は遠く支那に

市まで仕入れに来るその日

在る身で郷里を思ひ一人十

圓づゝ三十圓を同村小學校

達してゐるのでその殊勝な

に寄附したので高木校長は

行爲は賞讃的となつてゐ

る

感動してゐる

殊 軍人の姉

上遠野村西町雜貨商會田屋

事高萩七郎君は目下事變の

第一線に活躍してゐるが留

守宅は母ツメさん(五)姉ナ

ミさん(三)が守りナミさん

は弟の出征以來店を自分一

人で經營し毎日自轉車で平

野友親外二君は遠く支那に

市まで仕入れに来るその日

在る身で郷里を思ひ一人十

圓づゝ三十圓を同村小學校

達してゐるのでその殊勝な

に寄附したので高木校長は

行爲は賞讃的となつてゐ

る

感動してゐる

殊 軍人の姉

上遠野村西町雜貨商會田屋

事高萩七郎君は目下事變の

第一線に活躍してゐるが留

守宅は母ツメさん(五)姉ナ

### 第二師團南雲少將

#### 小名濱實業校視察

小名濱實業校視察の第二の

は、殊に可愛い子を持つ

師團南雲少將は昨十六日午

九時半福島縣陸隊區司令部

が飛廻つてゐる氣がしてな

官、縣社會課教育課長、石

らな

城郡聯合軍人分會長等隨件

のもとに小名濱町到着、同

會でも招待會でもアノ太

町々議務委員軍人分會青

鼓を叩く又は事變中遠慮し

年開幹部等と青年學校振

興て欲しいんだか第一線

策について懇談なし同十一

軍人さんの方へも響く氣が

時より青年學校生徒の教練

して折角の緊張も解消の態

分列式等を査閲、午後三時

築港状況を視察して新潟縣

小名濱橋に立つて川下を眺

めると有名な泥路以上上

なほ少将より教練成績優

越である、自發的にあの川

秀の講評及び青年の自覺

奇麗にする考へ持たないな

と父兄並に雇傭主の覺醒

### 鍼灸の權威來町

#### 東京拓殖大學講師柳谷素齋先生

漢方醫學科講師柳谷素齋先生

一、目的 灸術に對する普及講 演並に

灸術療法希望者の診療施術に

應ず

一、場所 小名濱町中島、善行院

一、期日 二月十七日より十九日迄三日間

小名濱町有志後援會

か爲に金一封にありついで

戴いて育て上げれば立處

人がある大工場誘致と云ふ

に羨しい、部に仕立たる營

事はモシメル爲めにするの

だとの慣習を抱かせる

玉川村を難治村だと云ふが

決して左にあらずだ、アレ

を半分して小名濱と鹿島村

今晚 北西の風雨

明日 北西の風曇後晴

▲天氣豫報

耳鼻咽喉科専門

高柳醫院

醫學博士 高柳博明

平市駅前(電話三三六)

高柳醫院

耳鼻咽喉科専門

醫學博士 高柳博明

日本水産小名濱冷凍工場招待の夕

鹽釜出張所長宮城氏も臨席して

二月十六日午後六時、場所新出漁場に出る事になつたから、小名濱町旗亭新米に於て何かと御用を申付けて、日産系小名濱冷凍工場、小名濱冷凍工場、日産の出振を一くさうが主催で招待の夕を催した。

來賓は小名濱を中心とした親會社の日本産業は滿洲に御歴々で遠く茨城方面の業進出した事は一般周知の事者の顔もチラホラ見えた。實である、幾々説明され、満洲産定まるや、小名濱工場は秋、満洲と日産の出資資本額、山金作氏の招待の挨拶では四億五千萬円で満洲重工、曰く當工場は以前日本企業株式會社を創立し、水産小名濱冷凍工場と改稱新工場を往來してゐる、活して不肖が工場長として引継ぎを請はしてゐる。活續き一層の御愛顧を蒙る段に内地の從來の事業に何等感附に堪えない、と前提し影響する處々益々發展の近時日産が滿洲に乗出す等、一歩を積極的に進路を取つ頻々として機構の變革がある事を説明し、

爲の、一休みの會社は、

なるものだらう、などの危最後は笑話を一くさう日本俱を懐く人達もあるやうだ、産業が日産と呼ぶ如く滿洲から一言説明して置きたい、重工業企業株式會社では呼と従前よりは一層廣汎に事業の伸びと権限の擴大せる、何んぞ異稱をつけたら宜か事を幾々説明され、水夕御らうと會社側では協議をこ招きした理由を明かにして、らした最初滿重と稱したが、今後益々御援助御指導に預變だ、それらとして、見りたいと席を鹽釜出張所長が語呂が却つて變だ、と見城氏に譲る。

寶屋藥局

次に宮城氏が挨拶に出たうと笑はせ盛會裡に午後十要旨はあらゆる日産系の漁時散會した、

業、食料會社分散を合一統制して日本水産となつたもので、會社は天なる強化をして、はるかに東北は塩釜出張所に於て東北の事業は

衛生材料  
佐々木三郎  
小名濱町

各種ゴム靴、ゴム合羽、ゴム前掛、革靴、運動靴、草履製造、三島印、ゴム工業所特約店

小島履物店  
福島縣小名濱町

開院廣告

暫く病氣の爲め休院致し、居り候處漸く平癒を見二月八日より開院致し、從前通り診察に應ずべく候

小名濱町上町廣町  
二月八日

會田醫院  
院長 會田 亮

樋口吳服店  
小名濱町中島通り

吳服類は……



曳前のお知らせ

漁船家屋其他財産の移動、土木建築、道船仲仕、請負一般

小名濱町（築港地内）  
小名濱町委託  
北村芳藏

(御希望の方は一應御相談下さい)

齒科一般

佐々木齒科醫院  
日本齒科醫學士  
佐々木三郎  
泉科小學校前・電話一五番

時代の生んだ、合理化せる……セメント瓦製造販賣

高本惣治商店  
小名濱町定西  
電話二一八番

御報せ次第參上御見届申可候

コークス販賣

弊店便今回東京平瓦斯コークス小名濱方面一手販賣店としてコークスの販賣をする事となりました、皆さま御承知の如くコークスは優良なる石炭を原料として製せられる物でありまして無煙無臭、火力強く、至極經濟的で一般御家庭の燃料としては勿論、各位の御便利を圖り御需用に副ひたいと存じて居ります。

東城平瓦斯コークス株式會社代理店  
小倉石油株式會社代理店  
小名濱町下町 電話六五番

小松重兵衛商店  
小名濱町下町 電話六五番

目下賣出し中

上海だより  
おしどり道中  
勇士の純情  
愛國行進曲

其他大衆盤種々入荷

内山時計店  
番九四話電

井坂醫院  
平市田町  
電五五九

内科外科  
小兒科  
花柳病科

平病院

院長 醫學博士 鈴木定藏  
平市十五丁目 電話六四一番

鈴木定藏  
佐藏幾要司

内 科 長 高橋俊幸  
小 兒 科 長 鈴木定藏  
一 般 外 科 長 鈴木定藏  
皮膚泌尿科 長 鈴木定藏  
物理療法科 長 鈴木定藏  
藥物科 長 鈴木定藏  
物理療法科 長 鈴木定藏

診察時間 毎日午前八時より午後九時迄  
夜間診察に従事す(急患ハ此ノ限リニアラス)  
往診時時、病室完備、入院隨時、自炊ノ便アリ  
看護婦募集



鈴木寫眞館  
小名濱町中島郵便局隣

永年に記念する  
婚禮の御寫眞は  
特に入念藝術味  
豊富な撮影

みな様おなじみの  
御仕出し  
御料理  
喜樂

中島電話四十七番

平川醫院  
江名町 電話二六番

内科外科  
小兒科  
花柳病科